

# BNCT 通信

## Boron Neutron Capture Therapy



### Topics I

### 再発頭頸部癌へのBNCT保険診療の現状報告

### 第2弾

2022年度の再発頭頸部癌へのBNCT治療の治療件数は、月間3~10件で推移しております。2022年10月には、通算100件に到達することができました。多くの患者さまをご紹介いただき誠にありがとうございます。今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、保険診療開始以降での再発頭頸部癌への疾患分類を右下に示しております。通算実績で多い順に、『口唇・口腔がん』30.4%、『喉頭がん』14.3%、『中咽頭がん』11.6%、『聴器腫瘍』10.7%の順になっております。



BNCTの治療日には、始業時にカンファレンスを実施しています。

医師、看護師、診療放射線技師、薬剤師、事務、住重加速器オペレーターなど関係者が一同に会して当日の治療の注意点などを共有します。



### ＜再発頭頸部癌への疾患分類＞

疾患名	2020	2021	2022	合計	構成比
口唇・口腔がん	6	13	15	34	30.4%
鼻腔・副鼻腔がん	0	5	3	8	7.1%
上咽頭がん	1	3	2	6	5.4%
中咽頭がん	3	4	6	13	11.6%
下咽頭がん	1	4	2	7	6.3%
喉頭がん	2	4	10	16	14.3%
唾液腺腫瘍	2	2	4	8	7.1%
甲状腺がん	0	0	0	0	0.0%
眼球・眼窩腫瘍	1	0	0	1	0.9%
聴器腫瘍	2	5	5	12	10.7%
歯原性腫瘍	0	0	0	0	0.0%
その他頭頸部腫瘍	0	1	0	1	0.9%
食道がん	0	1	0	1	0.9%
皮膚がん	1	1	1	3	2.7%
原発不明がん	1	1	0	2	1.8%

※2022は、4-11月までの中間値

### Information I

特定臨床研究『再発悪性神経膠腫に対するホウ素中性子捕捉療法で生じる腫瘍局所の早期反応のPETによる探索』を実施中です。

『再発悪性神経膠腫』を対象としてBNCTを実施し、FBPA-PET検査で評価を行う特定臨床研究を実施しています。

[https://www.ompu.ac.jp/kbmc/bnct\\_2/copy2\\_of\\_consultation.html](https://www.ompu.ac.jp/kbmc/bnct_2/copy2_of_consultation.html)

詳しい研究内容は、ホームページに掲載しておりますが、お電話でも対応いたします。



BNCTカンファレンス  
毎週金曜日に実施



## Topics II

## 第18回日本中性子捕捉療法学会 参加報告

2022年10月29-30日につくば市で第18回日本中性子捕捉療法学会(JSNCT)が開催されました。コロナ禍の影響で現地での開催は2019年9月以来でしたが、徐々にFace to FaceでBNCTの研究者が顔を合わせる機会となりました。

BNCTはまだ新しい分野なので基礎と臨床、研究者と企業の距離が近いのが本学会の特徴で、とても刺激的な2日間となりました。特に今回はBNCTの保険診療が始まって2年の段階での学会であり、頭頸部癌に対するBNCTを行っている当院と南東北BNCT研究センターの治療成績の報告もなされました。

学術大会自体が従来よりも臨床色が濃くなっており、BNCTが確実に新たなステージに進んでいることを強く実感しました。BNCTの最新情報をアップデートし、明日からの診療に役立てていければと思います。(報告：武野 慧 放射線腫瘍医)



第18回 日本中性子捕捉療法学会学術大会誌

## Topics III

## JSNCT認定医を取得しました

(日本中性子捕捉療法学会 認定医)

去る10月28日金曜日、第18回学術大会前日に学術大会と同じ会場内で、令和4年度JSNCT認定医試験がありました。

センターからは、二瓶圭二センター長、武野慧助教が受験し、合格することができました。2020年6月に開始したばかりのBNCTの治療法が、益々、発展・向上できるよう貢献して参ります。



認定証



(左：二瓶センター長、右：武野助教)

## Topics IV

## - 住友重機械工業株式会社との共同研究 - 『BNCTの実績成長過程における必要なリソース解析』を開始いたしました。

2022年10月より当センターと住友重機械工業株式会社との間で、『BNCTの実績成長過程における必要なリソース解析』と題した共同研究を開始いたしました。

10月3日には、研究に関する関与者が集まりキックオフ会議を開催しました。

研究は、BNCTの発展に応じて必要になる人員や機器などのリソースが、どのような段階にどのレベルで必要になるのか、将来の計画をより精緻なものにするために行います。

来年3月末まで継続する予定です。



10月3日のキックオフ会議 風景

